

自己評価書及び設計内容説明書【一戸建ての住宅用(木造)】

(第一面)

評価対象建築物の名称	
評価対象建築物の所在地	
設計者等の氏名	
評価者氏名	評価書記載による

性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄				
				項目	設計内容	記載図書					
1 構造の安定	1-1 耐震等級 (倒壊等防止) ☐ 評価対象外	等級	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	構造躯体及び基礎等	地震力及び風圧力	☐ 壁量計算による(階数が2以下の木造の建築物における基準) ☐ 壁量計算による(枠組壁工法の建築物における基準) ⇒評価方法基準 第5 1-1(3)ホ又はへ①b)による場合 ☐ 令和7年4月1日以降の基準に適合 ☐ 令和7年3月31日以前の基準に適合 ☐ 許容応力度計算による(ルート1) ☐ その他	☐ 仕様書 ☐ 伏図等 ☐ 計算書 ☐ 特記仕様書 ☐	☐ 適			
	1-2耐震等級 (損傷防止) ☐ 評価対象外	等級			基礎	☐ 建築基準法の規定による ☐ 許容応力度計算による ☐ スパン表 () ☐ その他	☐ 調査書 ☐ 伏図等 ☐ 計算書 ☐		☐ 適		
	1-3 その他				横架材	☐ 許容応力度計算による ☐ スパン表 () ☐ その他				☐ 調査書 ☐ 伏図等 ☐ 計算書 ☐	☐ 適
	1-4 耐風等級	等級			免震建築物	☐ 平成12年建設省告示第2009号第1第3号による免震建築物 ☐ 免震層及び免震材料の維持管理に関する図書の作成 ☐ 認定書等活用 ☐ 認定書等の活用(第四面に記入)					
	1-5 耐積雪等級 ☐ 該当区域外	等級	(1-6) 地盤	地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	☐ 許容支持力等 ☐ 地盤の許容応力度 [kN/m ²] ☐ 杭の許容支持力 [kN/本] ☐ 杭状改良地盤の許容支持力度 [kN/m ²] ☐ 杭状改良地盤の許容支持力 [kN/本]	☐ 調査書 ☐ 伏図等 ☐ 計算書 ☐	☐ 適				
	1-6 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	設計内容説明欄と同様			☐ 地盤調査方法等 () ☐ 地盤改良方法 ()			☐ 調査書 ☐ 伏図等 ☐ 計算書 ☐ 特記仕様書 ☐	☐ 適		
	1-7 基礎の構造方法及び形式等		(1-7) 基礎	基礎の構造方法及び形式等	☐ 直接基礎 () ☐ 基礎の構造方法 () ☐ 基礎の形式 () ☐ 杭基礎 杭種 ☐ 支持杭 ☐ 摩擦杭 方法 () 杭径 [cm] 杭長 [m]	☐ 伏図等 ☐ 計算書 ☐ 特記仕様書 ☐	☐ 適				
2 火災時の安全	2-1 感知警報装置設置等級 (自住戸火災時)	等級	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	感知警報装置	感知部分の設置場所等	☐ 基準に適合した感知部分の設置場所 ☐ 寝室 ☐ 居室 ☐ 台所等 ☐ 階段等 ☐ 警報を行う部分 (☐ 1mで70dB以上の警報音を1分継続可能 ☐ その他同等) (☐ 居室を有する各階設置 ☐ 階数が1) (☐ 150㎡毎設置 ☐ 350㎡毎設置 ☐ その他) (☐ ネットワーク化されている ☐ 感知器と一体型)	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐	☐ 適			
	2-4 脱出対策 (火災時) ☐ 該当なし	設計内容説明欄と同様	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	脱出対策(3階以上)	避難器具の種類	☐ 直通階段に直接通ずるバルコニー ☐ 避難器具 (☐ 避難ロープ ☐ 避難はしご ☐ 避難用タラップ ☐ 避難橋 ☐ 滑り棒 ☐ 滑り台 ☐ 緩降機 ☐ 救助袋) ☐ その他 ()	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐	☐ 適			
	2-5 耐火等級 (延焼のおそれのある部分・開口部) ☐ 該当なし	等級	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	開口部の耐火性能が最も低いもの	防火設備の仕様等	☐ 外壁の開口部の耐火性能 耐火時間 (☐ 60分以上 ☐ 20分以上 ☐ その他) ☐ 認定書等活用 ☐ 認定書等の活用(第四面に記入)	☐ 仕上表 ☐ 建具表 ☐	☐ 適			
	2-6 耐火等級 (延焼のおそれのある部分・開口部以外) ☐ 該当なし	等級	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	外壁・軒裏の構造(耐火性能が最も低いもの)	外壁の構造等	☐ 外壁の耐火時間 (☐ 60分以上 ☐ 45分以上 ☐ 20分以上 ☐ その他) 軒裏の構造等 ☐ 軒裏の耐火時間 (☐ 60分以上 ☐ 45分以上 ☐ 20分以上 ☐ その他) ☐ 認定書等活用 ☐ 認定書等の活用(第四面に記入)	☐ 仕上表 ☐ 矩計図 ☐	☐ 適			

性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄					
				項目	設計内容	記載図書						
3 劣化の軽減	3-1 劣化対策等 (構造躯体等)	等級	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	外壁の軸組等	外壁の構造等(地面から1m) ☐ 外壁通気構造等有り ☐ 外壁通気構造等無し ☐ 製材、集成材等又は構造用合板等+薬剤処理(現場処理) ☐ 製材、集成材等+小径13.5cm ☐ 製材、集成材等+耐久性区分D1+小径12.0cm以上 ☐ 耐久性区分D1のうち、ヒノキ等の高耐久樹種 ☐ K3以上の薬剤処理(工場処理) ☐ その他 ()	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 立面図 ☐ 矩計図 ☐ 伏図等 ☐ 特記仕様書 ☐	☐ 適					
				土台	防腐・防蟻処 ☐ 土台に接する外壁下端水切り ☐ K3以上の薬剤処理(工場処理) ☐ 耐久性区分D1のうち、ヒノキ等の高耐久樹種 ☐ その他 ()	☐						
				浴室・脱衣室の防水	防水上の措置 ☐ 浴室 ☐ 防水上有効な仕上げ ☐ 浴室ユニット(JIS A 4416) ☐ 外壁軸組等の防腐措置等 ☐ 脱衣室 ☐ 防水上有効な仕上げ ☐ 外壁軸組等の防腐措置等 方法 (床: 壁:)	☐						
				地盤	防蟻措置 ☐ 防蟻措置 (☐ 有 ☐ 対象区域外) ☐ ベタ基礎等 ☐ 土壌処理 ☐ その他	☐						
				基礎高さ	基礎高さ ☐ 地面から基礎上端又は土台下端までの高さが400mm以上	☐						
				床下防湿措置等	床下地盤面の防湿措置 ☐ 防湿方法 [☐ コンクリート ☐ 防湿フィルム ☐ その他 ()] 床下換気措置 ☐ 換気措置有 [☐ 換気口 ☐ ねこ土台 ☐ その他] ☐ 基礎断熱工法	☐						
				小屋裏換気の措置	小屋裏換気の措置 ☐ 小屋裏 有 (小屋裏換気措置による) ☐ 小屋裏 無 (屋根断熱工法等) ※両方あれば両方共チェック	☐						
				基準法認定書等	基準法認定書等活用 ☒ 基準法施行令第37条、第41条、第49条、第80条の2の規定に適合 ☐ 認定書等の活用(第四面に記入)	☐						
				4 維持管理・更新への配慮	4-1 維持管理対策等級 (専用配管)	等級		☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	専用配管	コンクリート内埋込み配管 ☐ すべての評価対象配管がコンクリート内に埋込まれていない	☐ 平面図 ☐ 配置図 ☐ 仕上表 ☐ 特記仕様書 ☐	☐ 適
				地中埋設管					地中埋設管上のコンクリート打設 (☐ 無、または土間コンその他ののみ有 ☐ 対象区域外)	☐		
排水管の性状等	排水管の内面の仕様 ☐ 排水管内面が平滑である ☐ たわみ、抜け等が生じないように設置	☐										
専用排水管の清掃措置	☐ 便所、その他水廻りに必要な清掃措置の確保	☐										
配管点検口の点検措置	☐ 主要接合部等の点検措置等の確保	☐										
5 温熱環境・エネルギー消費量に関するこ	5-1 断熱性能等級 ()地域	等級	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	適用する基準			☐ 非住宅・住宅計算方法(性能基準) ☐ 住宅仕様基準(等級4) ☐ 誘導仕様基準(等級5)		☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 立面図 ☐ 矩計図 ☐ 建具表 ☐ 計算書 ☐ 特記仕様書 ☐ 仕様書 ☐	☐ 適		
結露防止対策				繊維系断熱材 ☐ 外皮平均熱貫流率の基準に適合 ☐ 評価書記載希望 ※ [W/(m ² ・K)] ☐ 冷房期の平均日射熱取得率の基準に適合 ☐ 評価書記載希望 ※ [] ☐ 断熱構造とする部分の基準に適合 ・ 躯体の断熱性能等 ☐ 熱貫流率の基準に適合 ☐ 断熱材の熱抵抗の基準に適合 ☐ 開口部の断熱性能等に関する基準に適合 ☐ 緩和措置有り ☐ 窓の断熱(2%緩和) ☐ 窓の日射(4%緩和)	☐							
通気層の設置				☐ 繊維系断熱材等の使用 ☐ 有 ☐ 無→防湿層不要 ☐ 防湿層の設置 ☐ 除外規定適用(添付図書に内容を記載)	☐							
認定書等				☐ 認定書等活用 ☐ 認定書等の活用(第四面に記入)	☐							
				☐ 通気層の設置(繊維系断熱材使用の場合、防風層設置) ☐ 除外規定適用(添付図書に内容を記載)	☐							
				☐ 認定書等の活用(第四面に記入)	☐							

※ 最高等級の場合のみ評価書への記載希望可

性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄
				項目	設計内容	記載図書	
5 温熱環境・エネルギー消費量に関すること	5-2 一次エネルギー消費量等級 地域区分 () 地域 ☐ 年間日射 地域区分※1 () 区分 ☐ 暖房期日射 地域区分※2 () 区分	等級 ☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	適用する基準 非住宅・住宅計算方法 外皮性能値 居室等の面積 一次エネルギー消費量 設備機器等の仕様 住宅仕様基準・誘導仕様基準 認定書等	☐ 非住宅・住宅計算方法 (性能基準) ☐ 住宅仕様基準 (等級4) ☐ 誘導仕様基準 (等級6) ☐ Webプログラム出力票による 主たる居室の面積 ・その他の居室の面積 ・合計面積 ☐ Webプログラム出力票による ・基準一次エネルギー消費量 ・設計一次エネルギー消費量 ☐ Webプログラム出力票による ・単位床面積当たりの一次エネルギー消費量 [] MJ/(㎡・年) ☐ 評価書記載希望※3 ☐ Webプログラム出力票による ・暖房方式 ・冷房方式 ・換気設備方式 ・給湯設備 ・照明設備 ☐ (基準適否チェックリスト(国交省)参照 等)	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 立面図 ☐ 面積表 ☐ 機器表 ☐ 計算書 ☐ 特記仕様書 ☐ 仕様書 ☐ チェックシー	☐ 適	
6 空気環境	6-1 ホルムアルデヒド対策 (内装及び天井裏等)	設計内容説明欄と同様 ☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	内装仕上下地材等 使用建材 居室の内装の仕上げ材 天井裏等の下地材等 措置方法	・ ☐ 製材等 ☐ 特定建材 ☐ その他の建材 ・ 特定建材のうち最もホルムアルデヒド発散が大きい建材 ☐ F☆☆☆☆ ☐ F☆☆☆ ☐ F☆☆ (等級3) (等級2) (等級1) ・ 特定建材のうち最もホルムアルデヒド発散が大きい建材 ☐ F☆☆☆☆ ☐ F☆☆☆ (等級3) (等級2) ・ ☐ 換気又は気密措置による ☐ 使用建材による	☐ 仕上表 ☐ 建材表 ☐ ☐	☐ 適	
	6-2 換気対策	設計内容説明欄と同様 ☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	換気対策種類 局所換気対策 浴室 台所	・ ☐ 機械換気設備 ☐ その他 ・ 機械換気設備の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・ 換気のできる窓の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・ 機械換気設備の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・ 換気のできる窓の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・ 機械換気設備の有無 (☐ 有 ☐ 無) ・ 換気のできる窓の有無 (☐ 有 ☐ 無)	☐ 平面図 ☐ ☐	☐ 適	
7 光・視環境	7-1 単純開口率 7-2 方位別開口比	設計内容説明欄と同様 ☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	居室床面積に対する開口部の割合 方位別開口部の面積合計の比	・ 単純開口率 (% 以上) 北面 (% 以上) 東面 (% 以上) 南面 (% 以上) 西面 (% 以上) 真上 (% 以上)	☐ 平面図 ☐ 建具表 ☐ ☐	☐ 適	
8 音環境	8-4 透過損失等 (外壁開口部) ☐ 該当無し(北) ☐ 該当無し(東) ☐ 該当無し(南) ☐ 該当無し(西)	北面 東面 南面 西面	開口部の遮音性能 北の方位のサッシ・ドアセット 東の方位のサッシ・ドアセット 南の方位のサッシ・ドアセット 西の方位のサッシ・ドアセット 認定書等	☐ JISの遮音等級表示品 () ☐ その他試験を行うもの 透過損失の平均値 (dB) ☐ JISの遮音等級表示品 () ☐ その他試験を行うもの 透過損失の平均値 (dB) ☐ JISの遮音等級表示品 () ☐ その他試験を行うもの 透過損失の平均値 (dB) ☐ JISの遮音等級表示品 () ☐ その他試験を行うもの 透過損失の平均値 (dB) ☐ 認定書等の活用(下欄に記入)	☐ 仕上表 ☐ 建具表 ☐ ☐	☐ 適	

※1: 太陽熱給湯、太陽光発電を利用する場合のみ記入してください。

※2: 蓄熱の利用がある場合のみ記入してください。

※3: 最高等級の場合のみ、評価書記載希望可

注) 長期使用構造等の併願申請を行わない場合は住宅仕様基準を用いることができます。

性能表示事項	自己評価結果	評価方法	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄
				項目	設計内容	記載図書	
9 高齢者等への配慮	9-1 高齢者等配慮対策等級 (専用部分)	等級	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	部屋の特定寝室の位置 段差 階段 手摺 通路等の幅員 寝室、便所及び浴室 特定寝室面積	・ 特定寝室 (階、室名:) ・ 基準に適合したホームエレベーター (☐ 有 ☐ 無) ☐ 特定寝室と同一階に配置すべき室等の基準に適合 ☐ 日常生活空間内の床が段差のない構造 ・ 適用除外の段差 ☐ 玄関出入口 ☐ 玄関上りかまち ☐ 浴室出入口 ☐ その他の段差 () ☐ 日常生活空間外の床が段差のない構造 ☐ 階段の勾配等の基準に適合 ☐ 蹴込み ・ 蹴込み板の設置 (☐ 有 ☐ 無) ・ 回り階段等の設置 (☐ 有 ☐ 無) ・ 通路等への食い込み、突出 (☐ 有 ☐ 無) ・ 最下段の通路等への突出 (☐ 有 ☐ 無) ・ 滑り止め (☐ 無 ☐ 有、踏面と同一面) ・ 段鼻の出 (☐ 有 ☐ 無) ☐ 必要な階段幅員の確保 ☐ 階段 ☐ 便所 ☐ 浴室 ☐ 玄関 (☐ 設置準備) ☐ 脱衣室 (☐ 設置準備) ☐ バルコニー (☐ 手すりの設置 ☐ 転落のおそれなし) ☐ 窓 (2階以上) (☐ 手すりの設置 ☐ 転落のおそれなし) ☐ 廊下及び階段 (☐ 開放なし ☐ 手すりの設置 ☐ 転落のおそれなし) ☐ 通路幅員の基準に適合 ☐ 玄関・浴室出入口の幅員の基準に適合 ☐ 玄関・浴室以外出入口の幅員の基準に適合 (☐ 工事を伴わない撤去等 ☐ 軽微な改造) ☐ 内法面積、短辺寸法の基準に適合 ☐ 内法寸法の基準に適合 ☐ 便器と壁の距離の基準に適合 ☐ ドアの開放により確保 ☐ 軽微な改造により確保 ☐ 工事を伴わない撤去等により確保 ☐ 腰掛け式便器を設置 ☐ 特定寝室の内法面積の確保	☐ 平面図 ☐ 立面図 ☐ 断面図 ☐ 矩計図 ☐ 特記仕様書 ☐ ☐ ☐	☐ 適
10 防犯	10-1 開口部の侵入防止対策	設計内容説明欄と同様	☐ 基準 ☐ 特認 ☐ 型式 ☐ 認証	1 階 区分及び措置 ☐ 2 階 区分及び措置 ☐ 階 区分及び措置	・ 区分a ☐ 侵入防止上有効な措置 (☐ 雨戸等による対策) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し ・ 区分b ☐ 侵入防止上有効な措置 (☐ 雨戸等による対策) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し ・ 区分c ☐ 侵入防止上有効な措置 (☐ 雨戸等による対策) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し ・ 区分a ☐ 侵入防止上有効な措置 (☐ 雨戸等による対策) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し ・ 区分b ☐ 侵入防止上有効な措置 (☐ 雨戸等による対策) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し ・ 区分c ☐ 侵入防止上有効な措置 (☐ 雨戸等による対策) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し ・ 区分a ☐ 侵入防止上有効な措置 (☐ 雨戸等による対策) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し ・ 区分b ☐ 侵入防止上有効な措置 (☐ 雨戸等による対策) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し ・ 区分c ☐ 侵入防止上有効な措置 (☐ 雨戸等による対策) ☐ その他 ☐ 該当する開口部無し	☐ 平面図 ☐ 立面図 ☐ ☐	☐ 適
長期優良住宅	長期使用構造等とするための措置	劣化対策	点検措置	床下空間 小屋裏空間 床下空間の有効高さ	☐ 床下空間ごとに点検口を設置 ☐ 小屋裏空間ごとに点検口を設置 ☐ 床下空間の有効高さ330mm以上点検に支障のない範囲で 上記寸法に満たない部分の有無 (☐ 無 ☐ 有)	☐ 仕様書 ☐ 平面図 ☐ 断面図 ☐ 矩計図 ☐ 伏図等	☐ 適

—認定書等—

性能表示事項	種別	番号	認定書等添付状況
	☐ 型式 ☐ 認証 ☐ 特認		☐ 添付 ☐ 表紙のみ添付
	☐ 型式 ☐ 認証 ☐ 特認		☐ 添付 ☐ 表紙のみ添付
	☐ 型式 ☐ 認証 ☐ 特認		☐ 添付 ☐ 表紙のみ添付
	☐ 型式 ☐ 認証 ☐ 特認		☐ 添付 ☐ 表紙のみ添付